

共に育ち 共に学ぶ 交流及び共同学習の取り組み

かづの校では交流及び共同学習の取組として、居住地校交流、学校間交流、地域との交流を行っています。今年度は10名の児童生徒が、地域の小・中学校で居住地校交流を行っています。今回のお便りでは、6、7月に行った居住地校交流、学校間交流の様子や障害理解授業について紹介します。

居住地校交流（柴平小学校）

また、会おう!!



「どれが正解かな？」

かづの校のAさんは、1年生から6年間柴平小学校で同学年の友達と交流しています。

徐々に友達に会うと、「うれしい」「やったー」と、自分の気持ちを言葉にして伝える姿がみられました。今年度1回目の交流では、紙粘土の制作と、制作物のお題を当てるクイズをしました。「どれだ?」「正解!」「がーん」など友達と話をしながら、やりとりするなど交流を楽しんでいました。

今年度、あと1回交流する予定です。

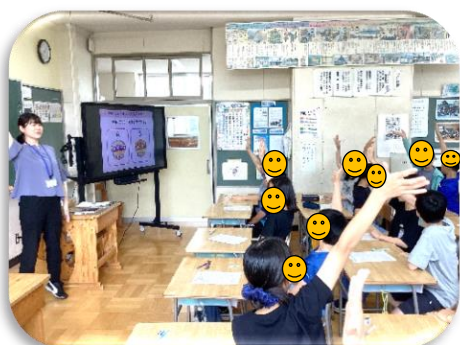
学校間交流（花輪さくら保育園）



しっぽとりゲーム!お兄さん速いな～

中学部の1～3年生とさくら保育園の年長の園児が交流を行いました。1回目は「かづのわくわく運動会」を生徒が企画、運営しました。当日は、生徒が保育園を訪問し「さくら保育園の子どもたちを笑顔にしよう」を合い言葉に、運動会を開催しました。しっぽとり、パズルや玉入れなど、どのゲームもとても盛り上がりしました。交流中は園児と視線を合わせてハイタッチするなど、相手を思いやりながら関わる様子が見られました。

障害理解授業について



体験的な活動やクイズなどを取り入れながら、学習を行います

学年	単元名(例)
小1	自分とは違ういろいろな人がいるよ
小2	ゆっくりタイプ(知的障害)の人がいるよ
小3	見えない・見えにくい人(視覚障害)について知ろう
小4	聞こえない・聞こえにくい人(聴覚障害)について知ろう
小5	車いすを使用している人について知ろう
小6	いろいろな困り感のある人(発達障害)について知ろう①
中1	いろいろな困り感のある人(発達障害)について知ろう②
中2	心のバリアフリー～知らないという障害をなくそう～
中3	共生社会の実現を目指して～多様性を認め、互いに尊重し合おう～

上記の内容は例です。交流児童生徒の障害理解の段階に応じた内容を交流校の担当者と相談しながら決めます。

今年度から、交流校の担当者と特別支援学校の担当者が、一緒に授業を進めています。前期は、保育園、小学校で障害理解授業を行いました。後期は、中学校でも実施する予定

令和7年度 かつの校研修会

7月28日(金)に、鹿角・小坂地区の認定こども園、幼稚園、保育所、児童発達支援事業所職員を対象に「かつの校研修会」を実施しました。今回の研修会では、比内支援学校の藤田教育専門監より御講話をいただきました。各園や事業所から、14名の職員の方に参加していただき園児の支援について理解を深めることができました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

講話題

「特別な支援が必要な園児の理解と支援のヒント」



参加者の感想

- ・ロールプレイ形式で分かりやすく、チームで考えられるよい方法だと思った。自分とは違う視点で、見ている先生達の考えも知ることができてよかった。
- ・好ましくない行動だけに目を向けるのではなく、よい姿を伸ばすための環境作りが大切だと学んだ。
- ・ABC分析が分かりやすかったので、自園でも取り入れてみたいと思った。

特別支援学校体験研修のお知らせ

1 趣旨

特別な支援を必要とする児童生徒への指導力向上に資するため、特別支援学校を会場として授業参加、授業づくり等の体験的な研修を行います。

2 対象者及び実施回数

対象者	回数
小学校、中学校、義務教育学校、高等学校の教員	希望する回数

3 会場

比内支援学校 かつの校

4 研修内容及び方法

- ・授業体験等を行い、指導計画や具体的な指導内容・方法等について研修します。
- ・学校見学や情報交換の時間の設定、放課後の時間帯での実施等、ニーズに応じて柔軟に対応します。

《学校見学・体験・特別支援学校体験研修等の申込み先》

比内支援学校 かつの校 副校長 福士 智子 まで
電話で御連絡ください。

お気軽に連絡
ください!



秋田県立比内支援学校 かつの校

〒018-5201 鹿角市花輪字案内2
TEL:(0186)22-0253 (0186)22-2631
FAX:(0186)30-1245
E-mail:kazuno-s@akita-pref.ed.jp
担当:副校長 福士 智子
地域支援部主任 能登谷 可子